

手作りの「はし」でお食事を

私たちが毎日食事に使う「はし」は、弥生時代にはあったといわれている。はじめは、木の枝を折って使っていたのかもしれない。今では、うるしぬりの高級な「はし」から、プラスチックの「はし」までいろいろある。板を手に入れて、自分の「はし」を作って、食事のときに使ってみよう。ところで、「はし」の正しい持ち方は知っているだろうか？

ステップ
アップ

世界の人々は、食事のときに何をを使って食べているか、調べよう。



読んでみよう

『箸の絵本』

兵左衛門編 つちはしとしこ絵 農山漁村文化協会 2008
978-4-540-07282-6

『はしのもちかた』

小永井道子作絵 偕成社 1983
978-4-03-235010-4

『手で食べる？』

森枝卓士文・写真 福音館書店 2005
978-4-8340-2072-4

